



語字英原田 鏡

No. 675

2012/7/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区
本郷1-1-1807301室

日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

第61回全国大会

参加報告

岡山支部事務局長 小林軍治

日本中国友好協会第61回全国大会の二日目は、午前中は分散会、午後から全体会議が開かれました。

全体の報告は、本部発行の日中友好新聞(前号)に詳細に述べられているので省略します。ここでは、第一分散会での私の発言を中心に紹介します。

中国帰国者とは、どの範囲をいうのか

本部規約改正委員会の報告に関連して、つぎの三点を質問しました。

(1)、中国帰国者の会員は、会費が月額五〇〇円となっているが、準会員(新聞購読のみ)の月額については、どのように考えているのか。

(2)、中国帰国者とは、どの範囲までをいうのか。(二・三世及び配偶者を含むのか)

(3)、外国人の大会参加については「これまで通り会員に限ると確認した」となっているが、中国残留孤児の配偶者」の多くは中国籍であることを考えると、例外的にこの人々の参加を検討できないか。

(1)、(2)について本部から後日回答がありました。中国帰国者は、財政的な配慮



倉敷支部の宮地、岡山支部の小林の両事務局長

「配偶者」支援をやり遂げよう

中国「残留孤児」の配偶者の生活支援を求める請願署名について発言しました。

まず、本部に対して、5月15日付けの通達(署名目標は会員・準会員一人あたり10筆とし、日中全体で十数万筆)に基づく各組織への要請数の徹底を求めました。(全体会で大会担当役員から、全国組織である日中に対する期待が高い、ぜひ達成したいと決意が述べられた。)

岡山支部の役員を中心とした取り組み(町内会を回る。各種集会で訴える。各団体への要請など。)を紹介しました。とくに私自身が「生活保護など社会保障制度への攻撃」が強い現状で、署名運動の輪を広げ

日中友好運動を若い世代へ引き継ごう!

大会参加者の内訳は、次の通りです。

平均年齢は、67.9歳で、最高齢が92歳、最年少が21歳です。また、60代(95人)、70代(96人)で全体の75.8%、40代以下が20人です。こうした現状から、日中友好運動(日中不戦条約は憲法9条を生かす道)を、若い世代に引き継ぐための

ることに困難を感じているが、どう克服したかについて話しました。

一つは、NHKBS 開拓者たち「子供を抱えて激流の川を渡るシーン」(私が小さい時から母に聞かされていた場面)を見てなぜ「孤児」(私たち)が生まれたのか、その歴史を再確認したこと。二つ目は私たち(孤児)を人生の伴侶として選び苦

労を共にした人々で、私たちにとっては、養父母と同様に大恩人であること「孤児」本人から聞かされたこと。最後に私は、県内目標三〇〇筆を達成するために奮闘する決意を述べました。

努力が求められています。

9月8日(土)・9日(日)に東京で開催される「全国青年交流会」を、成功させるためにも岡山からぜひ代表を送りたいと思っています。

会員のみなさん、代表派遣カンパへのご協力をよろしくお願ひします。

「配偶者」の生活支援を求める署名

一約二〇〇〇筆集まる一

はじめに

中国「残留孤児」の配偶者の生活支援を求める請願署名は、中国帰国者、日中岡山、倉敷支部の役員、日本語教室の講師、弁護士を中心に六月から七月中旬にかけて精力的に取り組み、7月20日現在で約2000筆集まりました。

足を運んで意義を訴え

この間の取り組みは、労働組合などを通して組織的に集めたのではなく、個人が足を運んで意義を訴えて集めたのが特徴です。たとえば、日中岡山監査の井上さんは、町内を回ったり、買い物先で、各種のあつまり、さらに七月七日の「盧溝橋事件」の街頭宣伝など、あらゆる機会を通して訴え、約1500筆を集めました。

日中岡山・倉敷支部のほかの役員も井上さんに続けと一人約20筆を集めました。

中国帰国者の人々は、自分たちの切実な要求であることを自覚し、家族、親せき及び友人・知人に説明し、約500筆を集約しました。



街頭で署名を訴える井上さん

弁護士は、事務所の職員・家族および各種集会で訴え約100筆を集めました。

岡南人権研究会では、会員の保・幼・小・中の職場で約280筆を、総社の日本語教室では、講師を中心に約500筆、多くの人々の力で、約2000筆集まりました。

日本本部のチラシに呼応して

日本本部から同封のチラシがとどきました。全国的な取り組みも強まっています。日中岡山・倉敷支部もこれに呼応して、生活保護攻撃の影響が感じられるなか、目標の3000筆を9月29日の日中交回復40周年までに達成できるように頑張ります。

日中友好協会倉敷支部

総会后初めての理事会

日中友好協会倉敷支部は、総会后初めての理事会(第一回)を7月7日(土)倉敷労働会館で開きました。

●第一回理事会で次のことを決めました
①理事の役割分担

理事会に先立ち11時から1時間倉敷駅前でもうひとつの七夕のチラシを配り、マイクで市民に呼びかけました。

・組織・会計(宮地)・文化講演会・映画係(栗本、山川、太漏)・通信係(大本)旅行係(片岡、福田)・帰国者支援・日本語教室(山縣)

●総会の感想を出し合いました。出された意見は①事務局体制が弱いので総会の運営に支障を来した ②理事長の基調報告はとても勉強になった

②今年度取り組む新たな活動・中国語講座、戦争と平和展の開催、日帰り親睦旅行
・「アカシアの花」の出版記念の集い
③次回理事会8月14日(火)

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか?

21

竹内和夫

語尾について(1)



A: ずっとまえに国文法(学校文法)との対決で、「書カセラレマシタ」を1語とするか5語とするか、という例を出されましたが、もう少し具体的に言うと?

B: 啄木式ローマ字で書くと kakaseraremasita となる。ただし、かれは si を shi と書くこともある。5単語で書くとすれば、kaka se rare masi ta となるのかな。

C: 学校文法では kaka=カクの未然形。se=使役の助動詞でセルの未然形、rare=受身・尊敬・自発・可能の助動詞でラレルの未然形、masi=丁寧の助動詞でマスの連用形、ta=過去・完了の助動詞でタの終止形であります。わかった? 高校入試などで出題されるから、おぼえたけど、なんのことか、さっぱりだったな。未然て、どういうこと?

《現にしゃべっている母語の文法を、暗記させる、なんという不合理ではありませんか》《国文法の用語としての「助動詞」は早くも明治10年(1877)の春山弟彦『小学科用日本文典』などに見えるが、オランダ語・イギリス語文典からの翻訳である。山田孝雄『日本文法論』(明治41年、1908)では「複語尾」と名づけられ(=複雑な語尾)単語ではなかった。まだ学説にはいろいろある》

A: そうか。学校文法にも、いろいろな見方があったんだ。いまも? 《そうだ》

B: すると、活用語尾(書いた、書いて、書けば)など、と(書かせられました)の下線のような語尾はちがうんですか?

C: (書く)と(書かせる)、(書く)と(書かれる)、(書く)と(書きます)の関係は、それぞれ別の動詞のように使えるし、再活用するといってもいい新しい形じゃないか? 《そうそう》

つづく

今年は、オーロラカーテンだ!

毎年恒例の平和の吹流しを表町商店街さんかく岡山(太極拳講習会会場)の前に飾らせていただきました。

昨年と今年は、過去に作って保存していた折鶴で飾り方の工夫を凝らして、新しいデザインを求め、飾ってききました。今年は吹流しのイメージを一新して、カーテン状にしました。色のグラデーションと見る角度によって波模様に変化します。大成功!(自画自賛)。

竹内理事長直筆のスローガンも栄えています。7月20日(金)まで、飾ってありました。中華料理の廣珍軒の前あたりです。

今回の折鶴で在庫がなくなつたので、来年は新しい折鶴を加えて、作りたいと考えています。普通の折紙で折つた鶴ですので、今から皆さんのご協力をお願いいたします。

市販の折紙の金・銀・白の三色以外の色紙で鶴を折つてください。折れた鶴は、岡山支部の理事にお渡しください。理事の皆さん、鶴の回収にご協力をお願いします。

太極拳講習会担当理事 青木正美



「太極拳」劣等生のひとりごと パート⑨

中国ツァー 車窓から 小坂信代

上海も広州も移動はバスでした。道路は広く片側だけで4車線あり、両側には、広い植栽スペースが切れ目なく続いていきます。市街地には、木陰やベンチもある広い公園もありましたが、残念ながら、太極拳をしている人たちの姿は、見かけませんでした。立体交差の道路の上段からはあちこちで、ブーゲンビリアのような花も群生していました。

もう一つ残念だったのは、食は広州にありと言われるくらいに、食材も豊富でおいしかったのに、農場や家庭菜園も含めて野菜や家畜などの、のどかな風景は見る事ができませんでした。観光バスや乗用車が走っている道を、古い自転車にリヤカーをつけてダンボールや野菜をいっぱい積んで押している人もいるのには、

時だけ「花いっぱい運動」をして、後は草ボーボーの道路とはちがいました。でも、歩いていて目についたのはサルビアや、ペチニア・マリーゴールドのような1年草が主で、よく見るとプランターやビニールポットのままポンポンと置いてあるだけの所もあるのです。かなりの予算を投入して植栽を維持しているのだろうけど、中国の大地にそぐわないと感じました。広州は沖繩の最南端よりもっと南のエリアになり、さすがに南国です。道の両側にはマンゴ

の木がたくさん植えられていた。次中国に行く時は、長い歴史や文化を守ってきた中国人たちの日常の生活が感じられる場所にも行きたいと思いました。

つづく

今回の新聞発送作業は8月1(水)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林 竹内 三垣